

●我が国や外国で実際に発生している主な動物由来感染症

群	動物種(昆虫含む)	主な感染症	予防のポイント
ペット	犬	パストレラ症、皮膚糸状菌症、エキノコックス症、カプノサイトファーガ感染症、コリネバクテリウム・ウルセランス感染症、ブルセラ症、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、狂犬病(※1)	節度のある触れ合い 手洗い等の励行
	猫	猫ひっかき病、トキソプラズマ症、回虫症、Q熱、パストレラ症、カプノサイトファーガ感染症、コリネバクテリウム・ウルセランス感染症、皮膚糸状菌症、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、狂犬病(※1)	
	ネズミ、ウサギ	レプトスピラ症、鼠咬症、野兔病、皮膚糸状菌症	
	小鳥、ハト	オウム病、クリプトコックス病	
野生動物	爬虫類	サルモネラ症	病気について不明な ことも多いので、一般 家庭での飼育は控える べき
	観賞魚	サルモネラ症、非定型抗酸菌症	
	プレーリードッグ	野兔病、ペスト(※1)	
	リス	野兔病、ペスト(※1)	
	アライグマ	狂犬病(※1)、アライグマ回虫症(※2)	
	コウモリ	狂犬病(※1)、リッサウイルス感染症(※1)、ニパウイルス感染症(※1)	
	キツネ	エキノコックス症、狂犬病(※1)	
	サル	細菌性赤痢、結核、Bウイルス病、エボラ出血熱(※1)、マールブルグ病(※1)	
野鳥 (ハト・カラス等)	オウム病、クリプトコックス病、ウエストナイル熱(※1)		
家畜・家きん	ウシ、ブタ、鶏	Q熱、クリプトスポリジウム症、腸管出血性大腸菌感染症、トキソプラズマ症、炭疽、鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9)(※2)	適切な衛生管理、中心までしっかり加熱して食す
その他	蚊	ジカウイルス感染症、チクングニア熱、デング熱、ウエストナイル熱(※1)	虫除け剤、長袖、長ズボン等の着用
	ダニ類	ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、クリミア・コンゴ出血熱(※1)	

※1: 我が国で病原体がまだ、もしくは長期間発見されていない感染症

※2: 我が国では患者発生の報告がない感染症